

令和6年度中核人材育成支援事業活用事例 《秋田化学工業株式会社》



■ 会社所在地 にかほ市平沢字井戸尻81

■ U R L <https://www.akita-kagaku.co.jp/>

■ 業 種 製造業(金属製品製造業)

■ 従業員数 97名(うち正社員78名 うち非正規社員19名) ※令和6年5月時点

現状・目指す姿

- ◆ 開発業務を担うエンジニア(技術担当者)が現状2名と少なく、増員していく必要がある。
- ◆ 専門的な内容を習得するため、外部で行う高度な技術セミナーに参加させ、技術者として育成するほか、習得した技術を社内に落とし込むことができる人材を育成したい。

取組の方向性

民間企業と大学が提携の上で開催する表面加工専門講座を受講

- ✓ めっき加工の専門技術を学ばせるとともに、コミュニケーション力やプレゼン力も身につけさせ、社内全体のレベルアップへ貢献できる人材へと育成

想定キャリア

- 配属先 : 技術品質保証部門
- 業務内容: 機器分析や製品評価など、薬液の分析から製品の評価・解析
- 想定キャリア
 - 1年目: 製品開発部門に配属され、設計業務を担当。
 - 5年目: 中堅職員として自社製品開発に携わる。
 - 10年目: 自社製品開発のチームリーダーを担当。
 - 15年目: 製造開発部門の管理職として、組織マネジメントを担う。

取組内容

- 9月の開校式を皮切りに、週に1度のペースで開催される専門講座を受講。
- 対面受講必須のもの以外はオンライン受講で対応するなど、通常業務と調整しながら実施。
- 受講料のほか、対面研修に要する旅費、宿泊費等についても会社が負担。従業員のスキルアップを全面的にサポート。



成果と今後

- ✓ めっき加工の専門的な内容のほか、品質管理、労働安全衛生等にかかる内容など、幅広い知識の習得につながった。専門的な内容を社内に展開していくため、研修資料等をもとに社内研修を実施していくなど、継続して技術・知識の向上に努める。
- ✓ 今後はマネジメント能力の向上に向けた研修受講も検討し、会社の中核を担う人材へと育成していく。